

在台湾学汉语

第二十九届足羽高中汉语短训班

第 5 期
2020.2.4
星 期 二

班別研修

2月3日(月)の午後は、待ちに待った班別研修が行われました。朝読書の時間を有効に使って入念に調べ上げたお店や観光地を目指し、大学生チューターさんの案内のもと班ごとに台湾の街へと出かけていきました。

多くの班が西門町“西门町(Xīmén dīng)”へ行き、それぞれ買い物を楽しんできたようです。同年代のチューターさんから教えてもらったポイントで映える^[注1]写真を撮影するなど買い物だけでなく台湾を存分に満喫している様子でした。また、毎日のタピ活^[注2]も欠かさず実施されているようです。次回の班別研修からはチューターさんが付かず自分たちだけで行動することになるのでよい予行練習になったようです。



[注1] 「ばえる」と読みます。SNSに投稿したくなるほど綺麗で目立つものに対して使うようです。

[注2] タピオカを飲む活動を指す言葉らしいです。類義語：タピる



《生徒の日誌より》

今日は、グループで買い物をしてきました。(電車の研修) 乗り換えとかはなかったけど、ちゃんと見てなきゃダメだなと思いました。良いものが買えて良かったです。(金剛丸 愛由莉)

今日は買い物に行きました。爆買いしたみたいに袋の中いっぱいになってしまったのですごく重かったし、恥ずかしかったです。ですが、買い物ができる楽しかったです。(松田 里菜)

今日は西門でたくさん買い物できました！日本とは違って靴とか服がめっちゃ安くて、さらにまけてくれて楽しかったです。買い物中に店員さんと中国語で話したりして通じたらうれしかったです。(上木 麻奈加)

最初の授業よりかはほんの少し中国語が分かるようになりました。午後からは西門に行ってすごい都会でビックリしました。幸福堂というタピオカがこの世にないくらいすごい美味しくて最高でした。(三田村 香奈)